

まち博の概要

この博物館は、高山市と飛騨地方の歴史、文化、芸術、工芸の保存と普及を目的として設立された。展示室では、高山の伝統的な木工品や高山祭などについて展示している。また、江戸時代（1603-1867）の町の誕生と発展、1585年から1692年まで高山を統治した金森家の歴史を詳細に展示している。館内には金森家の殿様が身に着けていた鎧や書物の見本などが展示されている。

この博物館の大部分は、永田家と矢嶋家が所有していた土蔵を復元したものだ。1953年に永田家の蔵と屋敷が高山市に寄贈されたのが、この博物館の始まりである。2009年には隣接する旧矢嶋家屋敷を含めて増改築された。敷地内にある10棟の土蔵は、いずれも19世紀から20世紀にかけて建てられたものだ。